

キーワードでみる小・中・高の目標・指導内容の系統表① 「話すこと・聞くこと」領域編

項目	小項目*	小1・2	小3・4	小5・6	中1	中2	中3	高校(国語総合)
目標	話す能力	事柄の順序を考えながら	筋道を立てて	的確に	構成を工夫して	立場や考えの違いを踏まえて	相手や場に応じて	* 領域ごとの目標は示されていない。
	聞く能力	大事なことを落とさないように	話の中心に気を付けて	相手の意図をつかみながら	話し手の意図を考えながら	考えを比べながら	表現の工夫を評価して	
	話し合う能力	話題に沿って	進行に沿って	計画的に	話題や方向をとらえて	相手の立場を尊重して	課題の解決に向けて	
	態度	進んで話したり聞いたりしようとする	工夫しながら話したり聞いたりしようとする	適切に話したり聞いたりしようとする	話したり聞いたりして考えをまとめようとする	話したり聞いたりして考えを広げようとする	話したり聞いたりして考えを深めようとする	
話題設定や取材	話題設定	身近なことや経験したことなどから	関心のあることなどから	考えたことや伝えたいことなどから	日常生活の中から	社会生活の中から	社会生活の中から	
	取材・整理等	必要な事柄を思い出す	必要な事柄について調べ、要点をメモする	収集した知識や情報に関係付ける	人との交流を通して集め整理	多様な方法で集め整理	自分の経験や知識を整理して考えをまとめ	
話すこと	相手や目的等	相手に応じて	相手や目的に応じて	目的や意図に応じて			場の状況や相手の様子に応じて	目的や場に応じて、
	自他の考え					異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ		話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち
	構成等	話す事柄を順序立て	理由や事例などを挙げながら筋道を立て	事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら	全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら	話の中心的な部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて		効果的に根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して
	言葉遣い等	丁寧な言葉と普通の言葉との違い	丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣い	場に応じた適切な言葉遣い	相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣い		語句や文敬語	
	音声等資料等活用	姿勢や口形、声の大きさや速さなどはっきりした発音	相手言葉の抑揚や強弱間の取り方など	共通語と方言	話す速度や音量言葉の調子や間の取り方	資料や機器など	資料など	
聞くこと	内容の重点	大事なこと	話の中心	話し手の意図		話の論理的な構成や展開など		
	聞き方	興味をもって	質問をしたり感想を述べたりする	自分の意見と比べるなどして考えをまとめる	必要に応じて質問しながら		聞き取った内容や表現の仕方を評価して	的確に
	自他の考え				自分の考えとの共通点や相違点を整理する	自分の考えと比較する	自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりする	
話し合うこと	留意点	互いの話を集中して聞き	互いの考えの共通点や相違点を考え	互いの立場や意図をはっきりさせながら	話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして	相手の立場や考えを尊重し	話合いが効果的に展開するように	相手の立場や考えを尊重し
	話合い方	話題に沿って	司会や提案などの役割進行に沿って	計画的に		目的に沿って	進行の仕方を工夫し	表現の仕方や進行の仕方などを工夫して
	自他の考え				自分の考えをまとめる	自分の考えを広げる	互いの考えを生かし合う	課題を解決したり考えを深めたり
交流	交流の観点							話したり聞いたり話し合ったことの内容や表現の仕方
	交流のねらい							自分の話し方や言葉遣いに役立てる ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする

* 指導内容の小項目については、学習指導要領や解説に明記されている項目ではありません。系統を細かく見るために、分析の視点として便宜上分けたものですので、留意してください。